

平成22年度学校評価表(島根県立松江商業高等学校)

達成度は目標値と1月(統計は3月)の評価値との比較で算出

自己評価 A:100≦(目標達成) B:70≦(ほぼ達成)<100 C:(できていない)<70

学校関係者評価 A:達成できている B:概ね達成できている C:できていない

評価計画		学校関係者評価												
評価項目	中期経営目標	短期経営目標	担当分掌	目標達成のための方策	評価指標	目標値	裏づけ資料	1月		達成度	評価	結果と課題の説明	学校関係者評価	
								評価値	達成度				評価	コメント
学習指導	学力向上	望ましい学習習慣の形成	教務	①授業の始めと終わりの時間厳守とあいさつの徹底 ②学習規律の確立を目指した授業づくり	望ましい授業態度が身に付いている生徒の割合	90%	アンケート(生徒)	65%	72%	B	今年度は、始業終業時の挨拶をきちんとする指導を行ったが、教員によりやや取り組み状況に温度差が生じている。また生徒自身も学習に取り組む姿勢や認識に甘さがあると感じられる。授業を行う教員の足並みをそろえ、学習環境作り生徒とともに進めたい。	B	○教師の取り組みは評価できるが、生徒へそれがしっかり浸透しているのかと問えば、多少問題あり。○生徒アンケートの中にもある様にむずかしい・厳しいとの声もあるが、社会人に必要な知識・修得には当然の事である。授業にかぎらず、生活面・部活面でも同様をお願い。○1・2年のうちは進路も決定せず、部活動との両立はなかなか難しい状況かもしれないが、家庭学習の意味、テスト前の提出物をきちんと行い、又提出しにくい環境作りも大切かと思えます。○家庭での学習時間が増える工夫や理解できない部分を個別に解る指導を期待します。	
				①適切な課題による家庭学習の習慣化 ②生活時間調査を利用した個別指導	家庭学習の習慣が身に付いている生徒の割合	70%	アンケート(生徒)	26%	37%	C				
	①研究授業、公開授業等の実施 ②生徒による授業評価の実施 ③校内外の研修会、研究会の実施	生徒の授業評価で「指導は概ねよい」とした生徒の割合	90%	アンケート(生徒)	57%	64%	C							
	①新学習指導要領による教育課程の編成 ②学科の特色を出す教育課程の編成 ③進路保障(就職、進学)に基づく教育課程の編成	新教育課程編成に向けての有意義な取組みをした教員の割合	100%	アンケート(教員)	56%	56%	C							
教育環境の整備	生徒の学習を支援する体制作り	教務	教務	①学習内容(シラバス)の充実 ②授業時間の確保 ③評価標準の検討、改善 ④個別指導、補充授業の実施	学習内容の充実を図った教員の割合	100%	アンケート(教員)	71%	71%	B	学習計画の作成・展開・評価・見直しが一括となって機能することが望ましい。生徒にわかりやすい授業計画及び評価について議論を深めたい。	B	○新教育課程編成が満足しているが、全ての先生の足並みがそろっていないのがとても残念。先生のお考えのボトムアップが必要。	
				①全商検定1級3種目以上日本一、基本情報技術者、日商簿記2級等上位資格の取得をめざし、きめ細かい指導を行う。 ②英語力向上の徹底 ③インターンシップの充実 ④だんだんドットコムへの充実 ⑤特色のある教育支援推進事業の充実 ⑥働くことを学ぼう推進事業の充実	全商検定1級3種目以上100名	100%	統計資料	83%	83%	B				
特色ある学校	商業教育の充実	体験的学習の充実	商業	①始業、終業時のあいさつの徹底 ②全校集会でのビジネスマナー教育の充実	ビジネスマナー教育が自分にとって役立つと感じている生徒の割合	90%	アンケート(生徒)	53%	58%	C	学校行事として職員全体が関わっての指導が大切であるとの意見があり、方法、やり方を今後検討が必要。	A	○全商検定の取り組み状況等優秀。体験的学習の内容・規模等も相当。○合格者の数から見て大変評価出来る。合格者が一人でも多く出る様、合宿・補習等、いろいろあり、今後共願いたい。○先生方も商業人の育成校としての自覚をもつと持たれ、高校の授業の構築が課題である。松江中心市街地活性化事業は多くのお客様を相手として生徒にとって貴重な体験となった。インターンシップは期間の検討と受け入れ先の拡大が課題である。	
				①全商検定1級3種目以上日本一、基本情報技術者、日商簿記2級等上位資格の取得をめざし、きめ細かい指導を行う。 ②英語力向上の徹底 ③インターンシップの充実 ④だんだんドットコムへの充実 ⑤特色のある教育支援推進事業の充実 ⑥働くことを学ぼう推進事業の充実	全商検定1級3種目以上100名	100%	統計資料	83%	83%	B				
	①インターンシップの充実 ②だんだんドットコムへの充実 ③特色のある教育支援推進事業の充実 ④働くことを学ぼう推進事業の充実	体験的学習での経験が自分にとって役立つと感じている生徒の割合	90%	アンケート(生徒)	77%	85%	B							
	①インターンシップの充実 ②だんだんドットコムへの充実 ③特色のある教育支援推進事業の充実 ④働くことを学ぼう推進事業の充実	体験的学習での経験が自分にとって役立つと感じている生徒の割合	90%	アンケート(生徒)	40%	44%	C							
生徒指導	基本的な生活習慣の確立	望ましい生活習慣の育成	生徒(教務)	①生徒会、教員、一緒に行う登校指導 ②頭髪、服装指導の徹底 ③礼法指導の徹底 ④自転車運転マナーの向上 ⑤情報モラルの向上	毎日きちんと学校に登校する生徒の割合(出席率)	99%	統計資料	98.9%	99.9%	B	出席率と遅刻をしない生徒の率はいずれも上昇している。声かけを続けていきたい。身だしなみを含めて教員が共通理解を持って、さらに全体と個々の生徒に対して適切に指導していきたい。	A	○様々な家庭環境の生徒あり。生活習慣について完璧は有り得ないと考えます。○社会人の先輩として厳しいのは本人への将来のためであり評価できる。	
				①保健室利用者に対する適切な指導 ②教育相談(さわやか委員会等)の充実 ③清掃指導の徹底 ④ゴミの分別処理の徹底	保健室と連携して保健指導をしている教員の割合	100%	アンケート(教員)	80%	80%	B				
	①保健室利用者に対する適切な指導 ②教育相談(さわやか委員会等)の充実 ③清掃指導の徹底 ④ゴミの分別処理の徹底	保健室と連携して保健指導をしている教員の割合	100%	アンケート(教員)	77%	77%	B							
	①保健室利用者に対する適切な指導 ②教育相談(さわやか委員会等)の充実 ③清掃指導の徹底 ④ゴミの分別処理の徹底	保健室と連携して保健指導をしている教員の割合	100%	アンケート(教員)	92%	92%	B							
生徒指導	健康・美化活動	健康管理・美化活動	保健	①保健室利用者に対する適切な指導 ②教育相談(さわやか委員会等)の充実 ③清掃指導の徹底 ④ゴミの分別処理の徹底	保健室と連携して保健指導をしている教員の割合	100%	アンケート(教員)	77%	77%	B	分担当区域で清掃状況に差がみられる。清掃が教育的に重要であり、清掃指導が全教職員の重要な課題であることを再確認したい。	B	○遅刻をせず、健康に学校生活を送れる事は思春期の子ども達にとって難しい事であると思えますが、本校はとて健全に行われていると思えます。○遅刻者が少ない事は、大変素晴らしいと思う。○薬物乱用に関する生徒への指導を行ってほしい。	
				①保健室利用者に対する適切な指導 ②教育相談(さわやか委員会等)の充実 ③清掃指導の徹底 ④ゴミの分別処理の徹底	保健室と連携して保健指導をしている教員の割合	100%	アンケート(教員)	77%	77%	B				
	①保健室利用者に対する適切な指導 ②教育相談(さわやか委員会等)の充実 ③清掃指導の徹底 ④ゴミの分別処理の徹底	保健室と連携して保健指導をしている教員の割合	100%	アンケート(教員)	92%	92%	B							
	①保健室利用者に対する適切な指導 ②教育相談(さわやか委員会等)の充実 ③清掃指導の徹底 ④ゴミの分別処理の徹底	保健室と連携して保健指導をしている教員の割合	100%	アンケート(教員)	83%	83%	B							
生徒指導	人権・同和教育の推進	人権・同和教育の体制作り	図書	①人権・同和教育への積極的な取り組み ②道徳教育への積極的な取り組み ③生徒理解と信頼関係の確立 ④教職員の人権意識の高揚	自分を肯定的に受け止められる生徒の割合	80%	アンケート(生徒)	61%	76%	B	1年生、2年生、3年生と学年を経るにつれて充実感を感じている生徒の割合が高まっているので、さらに全体的底上げが課題である。	B	○日常的な地道な活動であり、評価は相当に困難。○人権・同和教育を話す時には奈良の水平社を思い出します。行かれるなり、本で読まれるなり先生の勉強に期待します。○教職員の人権意識の高揚を図っていただきたい。	
				①人権・同和教育への積極的な取り組み ②道徳教育への積極的な取り組み ③生徒理解と信頼関係の確立 ④教職員の人権意識の高揚	自分を肯定的に受け止められる生徒の割合	70%	アンケート(生徒)	66%	95%	B				
	①人権・同和教育への積極的な取り組み ②道徳教育への積極的な取り組み ③生徒理解と信頼関係の確立 ④教職員の人権意識の高揚	自分を肯定的に受け止められる生徒の割合	70%	アンケート(生徒)	55%	78%	B							
	①人権・同和教育への積極的な取り組み ②道徳教育への積極的な取り組み ③生徒理解と信頼関係の確立 ④教職員の人権意識の高揚	自分を肯定的に受け止められる生徒の割合	70%	アンケート(生徒)	31%	44%	C							

進路指導	進路実現への支援	進路実現	進路	①個に応じた進路指導 ②生徒および保護者への進路情報の提供と活用 ③ハローワーク、松江市、東出雲町との連携による求人開拓	在学中に就職を内定する生徒の割合(内定率)	100%	統計資料	96%	96%	B	早い時期の求人が少なく、事務職では一般・大学生との競合もあった。	A	○努力の跡がうかがえる。優秀。○大変厳しい社会情勢の中すばらしく評価できます。全ての生徒が3/31まで100%決まりますよう、さらなる力をお貸しください。○細かく最後まで指導がされたと思います。国公立及び有名私立大学へも取得した資格で推薦を得ることはできないのか?○1~2年の間に進路を意識付けさせる学習、体験の機会を増やしてほしい。
				①企業見学、インターンシップの実施 ②進路相談会、進路講演会等の実施 ③進路の手引きの有効利用	進路学習を通して自分の進路意識が向上したと感じている生徒の割合	90%	アンケート(生徒)	60%	67%	C			
				①企業見学、インターンシップの実施 ②進路相談会、進路講演会等の実施 ③進路の手引きの有効利用	進路学習を通して自分の進路意識が向上したと感じている生徒の割合	90%	アンケート(生徒)	60%	67%	C			
特別活動	豊かな心の育成と情操の涵養	読書習慣の育成	図書	①各自の目標達成への支援 ②外部講師の招聘	部活動に入っている生徒の割合	90%	アンケート(生徒)	81%	90%	B	81%は1月時点で実際に活動している生徒の割合で、内78%が積極的に取り組んでいる。	C	○部活動の内容、取り組みを顧問の先生から年に何度か文章で連絡すれば良いと思う。○この部分は専門高校の苦手な部分。○読書に対して方向は良いのであるが、実態、つまり読んでいるかは別の様で残念である。○なるべく多くの生徒の皆さんが行われている活動に参加できるよ
				①読書センター、学習・情報センターとしての機能強化 ②朝読書への支援 ③生徒図書委員会の活動強化	朝読書、図書委員会の活動等が読書習慣化に役立ったと感じている生徒の割合	70%	アンケート(生徒)	38%	54%	C			
	①読書センター、学習・情報センターとしての機能強化 ②朝読書への支援 ③生徒図書委員会の活動強化	朝読書、図書委員会の活動等が読書習慣化に役立ったと感じている生徒の割合	70%	アンケート(生徒)	38%	54%	C						
	①読書センター、学習・情報センターとしての機能強化 ②朝読書への支援 ③生徒図書委員会の活動強化	朝読書、図書委員会の活動等が読書習慣化に役立ったと感じている生徒の割合	70%	アンケート(生徒)	38%	54%	C						
特別活動	生徒会活動の活性化	生徒会活動の活性化	生徒	①全校生徒、教職員、一体となった学校(生徒会)行事への取組み ②各種委員会の活性化	生徒会活動へ積極的に参加している生徒の割合	70%	アンケート(生徒)	41%	59%	C	生徒会主催行事については、早めに指導し、生徒が自分たちで運営させるようにしたい。	B	○水準並みの状況。○子ども達の自発的な行動が見られ大変うれしい。この様に活動している姿を報道に流していただく努力もお願いします。○思春期の子ども達の心理に對して、感動する心を育成させるのは、なかなか難しい事であるが、体験をする事によって何か得られる事の方が多いかもしれません。
				①クラス内の組織作りと自主的な活動への支援 ②自己及び他者の個性を理解しようとする心の育成	クラス、学校への帰属意識を感じている生徒の割合	90%	アンケート(生徒)	85%	94%	B			
	①クラス内の組織作りと自主的な活動への支援 ②自己及び他者の個性を理解しようとする心の育成	クラス、学校への帰属意識を感じている生徒の割合	90%	アンケート(生徒)	84%	93%	B						
	①クラス内の組織作りと自主的な活動への支援 ②自己及び他者の個性を理解しようとする心の育成	クラス、学校への帰属意識を感じている生徒の割合	90%	アンケート(生徒)	84%	93%	B						
信頼される学校	開かれた学校づくり	地域との連携	教務・生徒・総務	①保護者面談の実施 ②PTA活動の活性化 ③読書活動の推進	学校側と連携を図ることができたと感じている保護者の割合	80%	アンケート(保護者)	83%	104%	A	学校と連携できたと感じている保護者の割合が改善している。生徒が保護者に学校のことを話すには課題がある。	B	○新しい前向きな取り組みが行われている。○ボランティア活動(校外)の情報は本人申請だけではなく、学校からもどしどし提示してはどうか、又、それに対して十分な評価をお願いしたい。OPTA活動は他校よりもなされていると思う。○メールマガジンを浸透させるPRをお願いします。
				①三者連携の推進 ②地域ボランティアへの積極的な参加 ③オープンスキャンパスの充実	ボランティア活動に参加している生徒の割合	40%	アンケート(生徒)	34%	85%	B			
	①三者連携の推進 ②地域ボランティアへの積極的な参加 ③オープンスキャンパスの充実	ボランティア活動に参加している生徒の割合	40%	アンケート(生徒)	34%	85%	B						
	①三者連携の推進 ②地域ボランティアへの積極的な参加 ③オープンスキャンパスの充実	ボランティア活動に参加している生徒の割合	40%	アンケート(生徒)	34%	85%	B						
信頼される学校	情報発信	情報発信	総務	①定期的な「PTA会報」「学年だより」「学級だより」の発行及び充実な伝達 ②ホームページの定期的更新、メールマガジンの発行	PTA会報、学年だより等を読んでいる保護者の割合	80%	アンケート(保護者)	91%	114%	A	以前よりは上昇しているが、魅力有るHPとその更新、メールマガジンなど携帯の活用が必要である。	B	○保健室の利用状況、利用生徒への対策等聞きたかった。
				①定期的な「PTA会報」「学年だより」「学級だより」の発行及び充実な伝達 ②ホームページの定期的更新、メールマガジンの発行	PTA会報、学年だより等を読んでいる保護者の割合	80%	アンケート(保護者)	91%	114%	A			
	①定期的な「PTA会報」「学年だより」「学級だより」の発行及び充実な伝達 ②ホームページの定期的更新、メールマガジンの発行	PTA会報、学年だより等を読んでいる保護者の割合	80%	アンケート(保護者)	91%	114%	A						
	①定期的な「PTA会報」「学年だより」「学級だより」の発行及び充実な伝達 ②ホームページの定期的更新、メールマガジンの発行	PTA会報、学年だより等を読んでいる保護者の割合	80%	アンケート(保護者)	91%	114%	A						
信頼される学校	危機管理	危機管理体制づくり	総務・生徒・保健	①緊急連絡体制の確立 ②教職員の危機管理に対する意識の高揚 ③危機管理に対する校内研修の実施	校内研修により危機管理に対する意識が高まった教職員の割合	80%	アンケート(教員)	81%	102%	A	テスト期間や放課後に開催する研修会に対する教職員の参加率を高める必要がある。また、年度の早い時期に教職員研修会を行い、その成果を生徒・保護者に伝えていく必要がある。	B	○保健室の利用状況、利用生徒への対策等聞きたかった。
				①緊急連絡体制の確立 ②教職員の危機管理に対する意識の高揚 ③危機管理に対する校内研修の実施	校内研修により危機管理に対する意識が高まった教職員の割合	80%	アンケート(教員)	46%	58%	C			
	①緊急連絡体制の確立 ②教職員の危機管理に対する意識の高揚 ③危機管理に対する校内研修の実施	校内研修により危機管理に対する意識が高まった教職員の割合	80%	アンケート(教員)	78%	98%	B						
	①緊急連絡体制の確立 ②教職員の危機管理に対する意識の高揚 ③危機管理に対する校内研修の実施	校内研修により危機管理に対する意識が高まった教職員の割合	80%	アンケート(教員)	68%	85%	B						